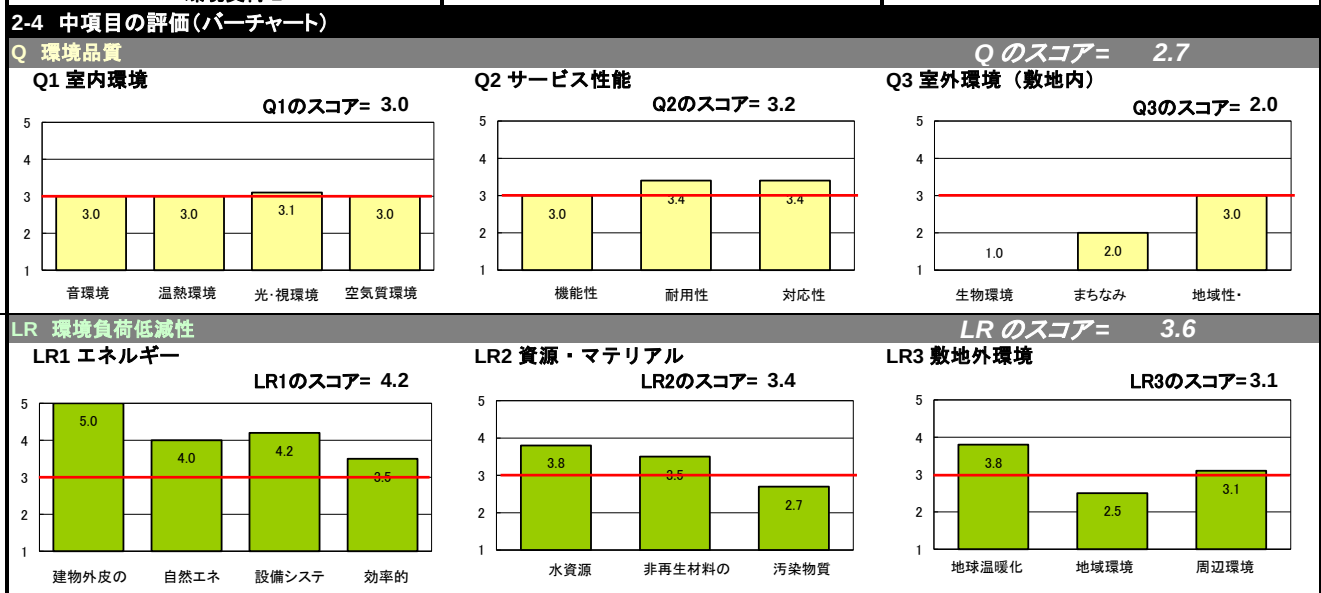
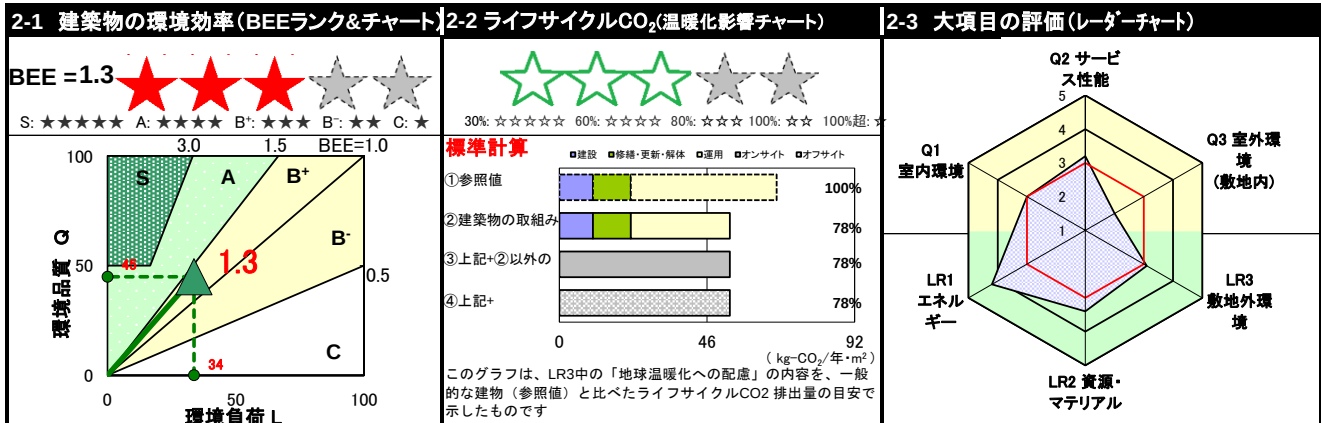


CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 6-035

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE横浜2022年版v.1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東京都市大学横浜キャンパス新棟増築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市都筑区牛久保西三丁目3番1、3番3	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	896 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年9月20日
敷地面積	4,915 m ²	作成者	東急建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	1,477 m ²	確認日	
延床面積	5,255 m ²	確認者	東急建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項	
総合	その他
地上4階建てとすることで、建築面積を最小限に抑え、キャンパス内の緑地やグリーンベルトなど公開空地を減少させることなく計画した。	特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
屋光利用設備として吹抜け上部にハイサイドライトを設けた。室内のCO ₂ 監視が中央で常時行えるシステムとした。	建築基準法に求められた25%増の耐震性を有する。空調・給排水配管の更新必要間隔を抑えるため、主要な用途上位3種のうち2種以上にC以上を利用した。空間のゆとりを確保するため、階高にゆとりをもった計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	
施設機能提供による地域貢献のため、1階のホールは地域に開放された空間とした。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
BPI=0.57と、建物外皮の熱負荷を抑制できる計画とした。	水資源保護の為、節水コマ、節水型機器を使用した。
LR3 敷地外環境	
光害抑制の為、屋内照明のうち外に漏れ出る光への対策として、JIS基準に従って照度を設定した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)東京都市大学横浜キャンパス新棟増築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 32 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2024年7月23日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

太陽光発電の電力利用。

BPI=0.57と、建物外皮の熱負荷を抑制できる計画とした。

建物で消費されるエネルギーを各負荷ごと(空調、換気、照明、その他)に計量。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

ハイサイドライトを利用した昼光利用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

建築基準法に定められた25%増の耐震性を有している。

空調・給排水配管の更新必要間隔について、主要な用途上位3種の、2種以上にC以上を使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

1階ホールの地域への開放。

太陽光発電などの導入



太陽光利用

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

雨水等利用設備

エネルギーマネジメントシステム導入

BEMS



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)東京都市大学横浜キャンパス新棟増築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					-		-	2.7
Q1 室内環境					0.40		-	3.0
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.30	-	-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	3.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	-
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	0.60	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能		3.0	0.40	-	-	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境		3.0	0.30	3.0	-	-
3 光・視環境				3.1	0.25	-	-	3.1
3.1 屋光利用				3.4	0.30	-	-	-
1 屋光率	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	0.60	3.0	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境		-	-	3.0	-	-
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境		4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-
1 屋光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	1.00	3.0	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	0.15	3.0	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境		3.0	0.25	3.0	-	-
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	1.00	3.0	-	-
4.2 換気				2.3	0.30	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		1.0	0.33	-	-	-
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		5.0	0.50	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境		3.0	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性				3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	-	3.0	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性		2.0	-	3.0	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性		2.0	0.50	3.0	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性		4.0	0.50	1.0	-	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震				3.8	0.50	-	-	-
1 耐震性	防 災	⑬耐震・免震		4.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防 災	⑬耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上		4.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災	⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防 災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防 災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防 災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防 災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防 災	⑮信頼性		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	3.0	-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)東京都市大学横浜キャンパス新棟増築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	2.0	
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮・快適性の向上			地域・まちづくり		⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ		⑪敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.6	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	4.2	0.50	-	-	4.2	
4 効率的運用						3.5	0.20	-	-	3.5	
集合住宅以外の評価						3.5	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能		④効率的運用	4.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.4	
1 水資源保護					3.8	0.20	-	-	-	3.8	
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.7	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					4.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.5	0.60	-	-	-	3.5	
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					5.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					4.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.7	0.20	-	-	-	2.7	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					2.6	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤					2.0	0.33	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.33	-	-	-	-	
3 冷媒					3.0	0.33	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮					3.8	0.33	-	-	-	3.8	
2 地域環境への配慮					2.5	0.33	-	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.33	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.33	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制					-	-	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.33	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33	-	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音					3.0	0.33	-	-	-	-	
2 振動					3.0	0.33	-	-	-	-	
3 悪臭					3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制					3.0	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					3.7	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					4.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-	-	

上記以外の重点項目					-	-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-	-
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
2	適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	-	-	-	-	-